

福島工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	人文科学Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0010			科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義・演習			単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	ビジネスコミュニケーション学科			対象学年	1		
開設期	通年			週時間数	2		
教科書/教材	配布プリントを教科書、ノートの代わりとする						
担当教員	川崎 俊郎,大岩 慎太郎						
到達目標							
①幕末期の日本の置かれた国際情勢を理解する。 ②明治維新以降の近代化の流れについて理解する。 ③20世紀の世界における日本の地位を理解する ④資本主義と日本社会の関係を理解する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
基礎的能力		歴史的事実を踏まえて、複数の事実間の関係を説明できる。		歴史的事実について、その概要を説明できる。		歴史的事実について、その概要を説明できない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		幕末期から高度経済成長期までの日本の歴史を概観する。					
授業の進め方・方法							
注意点		授業は配布プリントを中心に進めるので、なくさずに必ずファイルする。 また、課題・レポートは指示された期限・様式などを厳守する。 定期試験の成績を60%、課題を40%として総合的に評価し、60点以上を合格とする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	江戸鎖国体制の動揺(1)		鎖国体制、外国船の来航		
		2週	江戸鎖国体制の動揺(2)		諸藩の改革、天保の改革		
		3週	開国と幕末の動乱(1)		ペリー来航、安政条約		
		4週	開国と幕末の動乱(2)		開国の影響、公武合体、尊王攘夷運動		
		5週	明治維新と中央集権の確立(1)		討幕運動の展開、戊辰戦争		
		6週	明治維新と中央集権の確立(2)		廃藩置県、社会資本の整備、軍制の整備		
		7週	殖産興業		地租改正、金融制度の整備		
		8週	対外関係の変容		岩倉使節団、征韓論		
	2ndQ	9週	民権運動から立憲体制の確立(1)		西南戦争、国会開設への動き		
		10週	民権運動から立憲体制の確立(2)		憲法制定の過程、初期の帝国議会		
		11週	日清戦争		朝鮮をめぐる情勢、下関講和条約		
		12週	日清戦争後の内政と外交		植民地経営、初期の政党政治		
		13週	日露戦争		日英同盟、ポーツマス条約		
		14週	日露戦争後の内政と外交		韓国併合、満州経営		
		15週	まとめ		近代日本を見る眼		
		16週					
後期	3rdQ	1週	第一次世界大戦と日本の経済 1		大正政変、第一次世界大戦、ワシントン体制		
		2週	第一次世界大戦と日本の経済 2		大戦景気、恐慌と工業化		
		3週	政党政治の発展と大衆文化 1		政党政治、天皇機関説、民本主義		
		4週	政党政治の発展と大衆文化 2		1920年代の政治と経済、民政党と政友会		
		5週	軍国日本の形成と第二次世界大戦 1		昭和恐慌、満州事変、軍国主義		
		6週	軍国日本の形成と第二次世界大戦 2		日中戦争、統制経済、ブロック経済		
		7週	軍国日本の形成と第二次世界大戦 3		太平洋戦争、戦争下の国民生活		
		8週	二つの大戦の時代		1910年代から40年代の政治・経済・外交		
	4thQ	9週	戦後日本の国家再編と国民生活 1		ポツダム宣言、日本国憲法、民主化		
		10週	戦後日本の国家再編と国民生活 2		講和条約、朝鮮戦争、GATT－IMF体制		
		11週	国際社会の動向と高度経済成長 1		55年体制、日米新安保		
		12週	国際社会の動向と高度経済成長 2		産業構造の転換、所得倍増計画		
		13週	国際社会の動向と高度経済成長 3		石油危機、ドルショック、国際情勢の転換点		
		14週	豊かな社会と世界の一体化		1950年代から1970年代の政治・経済・外交		
		15週	まとめ		現代日本を見る眼		
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	課題	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	40	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	40	0	0	0	0	100